ACBC0001

施工業者様用

タテヤマゴンドラ KL型　組立説明書

このたびはタテヤマアドバンスの製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
製品の組み立てや取り付けは、この組立説明書をよくお読みになり正しく行なってください。

組み立ては専門業者様が行なってください。

専門知識のない方が行うと不具合の原因になることがあります。

この組立説明書に記載した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。
人身事故や財産上の損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	内 容
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者などが負傷するおそれや、物的損害の発生が予想されることを示します。

絵表示	内 容
	「必ず行なっていただくこと」を示します。
	「してはいけないこと」を示します。

販売店様及び施工業者様へ：同梱されている取扱説明書は施工完了後、必ずお客様へお渡しください。

目　　次

1. 組み立て・設置上の注意…… P. 2
2. 使用部材一覧　両面・片面ユニット
　①バックボードタイプ・バックネットタイプ …… P. 3
　②オープンタイプ …… P. 4
3. 組み立て順序　両面・片面ユニット
　①バックボードタイプ・バックネットタイプ …… P. 5
　②オープンタイプ …… P. 7
4. 組み立て順序　オプションパーツ
　①柱キャップ、キャスター、継ぎ脚セット …… P. 8
　②継ぎ柱（上部パネル・上部ネット・上部オープン）…… P. 9
　③床板セット、ステージ前面板セット、サイドカバー …… P. 10
　④ステージ側面板、エンド固定金具、壁面固定金具 …… P. 11
　⑤半柱セット、仕切枠セット …… P. 12
　⑥サイドネットセット …… P. 13
　⑦エンド枠セット …… P. 14
　⑧特寸対応金具 …… P. 15

⚠注意

製品を屋外や湿気が多い場所に放置しないでください。
製品が錆びるおそれがあります。

製品を高所から落としたり勢いよくぶつけたり踏んだりしないでください。
製品が破損するおそれがあります。

爪の叩き込み、固定ピンの挿し込み、ねじの締め付けを確実に行なってください。
製品が倒壊してケガするおそれがあります。

製品を金槌などの硬いもので叩かないでください。
製品が傷つくおそれがあります。
当て木をするか、プラスチックハンマーを使用します。

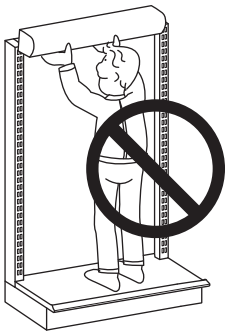
製品を改造しないでください。
製品が倒壊してケガするおそれがあります。
長さを詰める場合、本説明書の内容（P.15）に従って行ないます。

柱同士が水平に揃うようにアジャスターを調節してください。
製品が倒壊してケガするおそれがあります。
アジャスターの長さが足りない場合、板を挟んで調節します。

組立後の製品を無理に動かさないでください。
製品が倒壊してケガするおそれがあります。
動かす場合、棚板などを取り外して軽量化し、大人数で慎重に行ないます。

壁面固定金具の取り付けを確実に行なってください。
製品が倒壊してケガするおそれがあります。

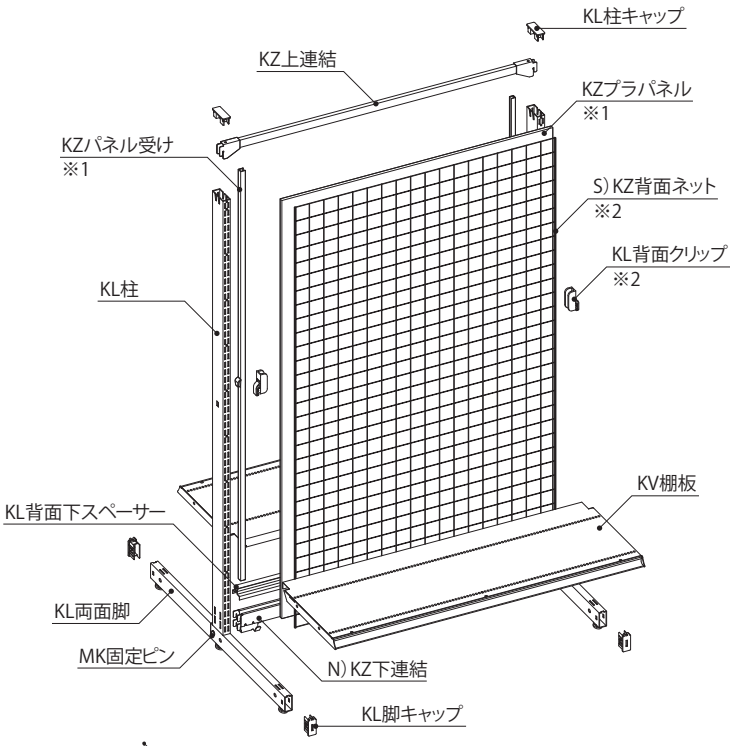
製品の上に登ったりぶら下がったりしないでください。
転落してケガするおそれがあります。



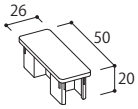
シンナー、ベンジンなどの有機溶剤やタワシ、
ブラシなどの硬いもので清掃しないでください。
製品が傷付くおそれがあります。
清掃する場合、水で洗い硬く絞った布で拭き取り、
最後に乾拭きします。

2　使用部材一覧　両面・片面ユニット　①バックボードタイプ・バックネットタイプ

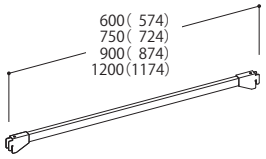
※（ ）内は実寸法です。
※1はバックボードタイプ。
※2はバックネットタイプ。



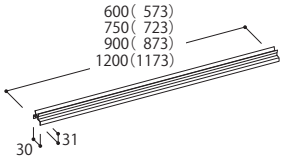
●KL柱キャップ



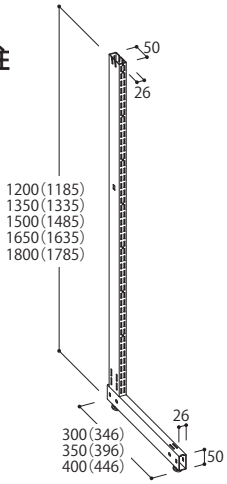
●KZ上連結



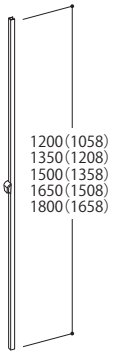
●KL背面下スペーサー



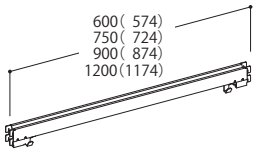
●KL柱



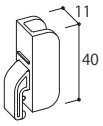
●KZパネル受け ※1



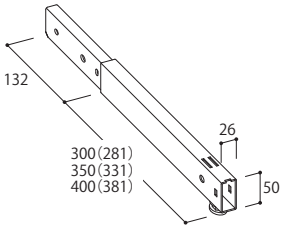
●N)KZ下連結



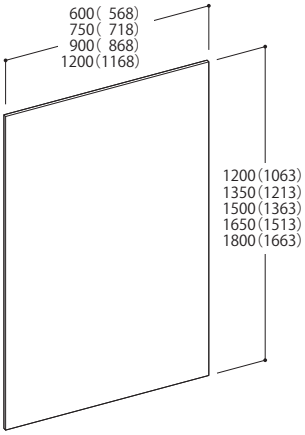
●KL背面クリップ ※2



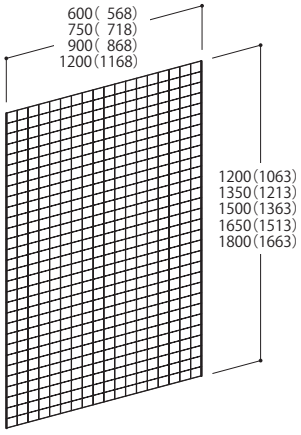
●KL両面脚



●KZプラパネル ※1



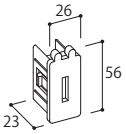
●S)KZ背面ネット ※2



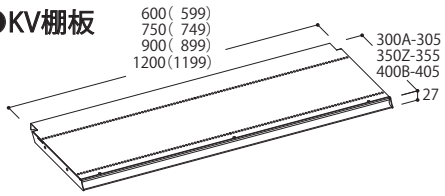
●MK固定ピン



●KL脚キャップ

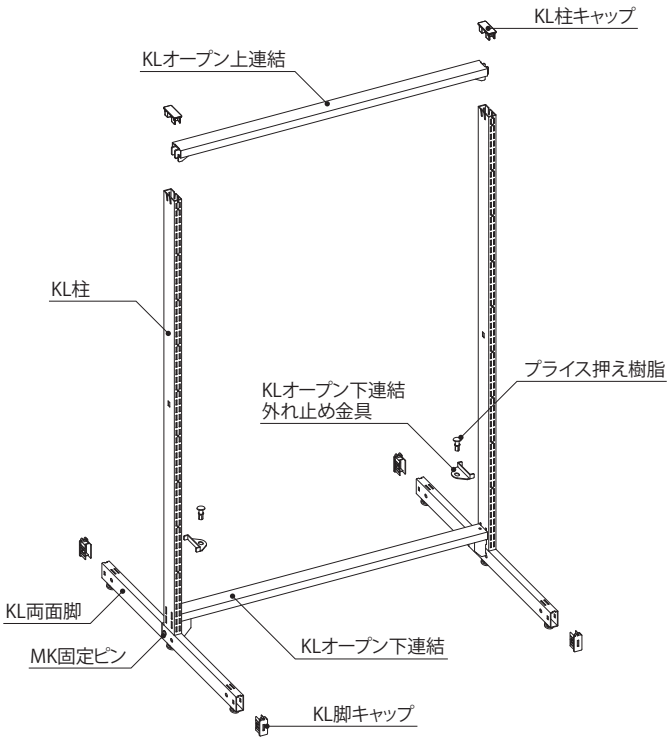


●KV棚板

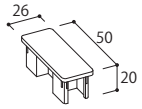


2　使用部材一覧　両面・片面ユニット　②オープンタイプ

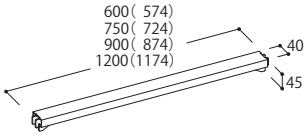
※（ ）内は実寸法です。



●KL柱キャップ



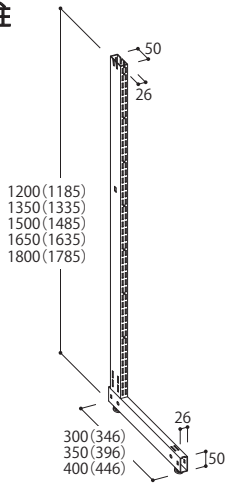
●KLオープン上連結



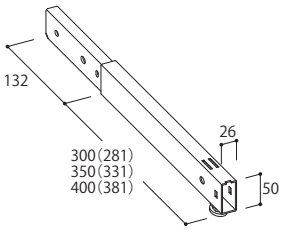
●プライス押え樹脂



●KL柱



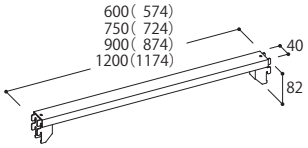
●KL両面脚



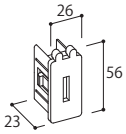
●KLオープン下連結外れ止め金具



●KLオープン下連結



●KL脚キャップ

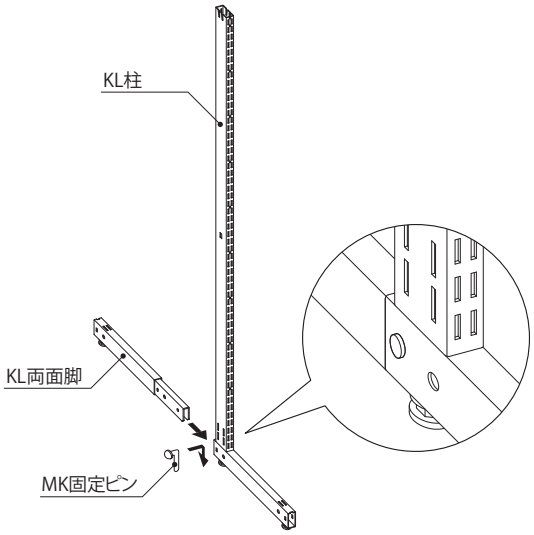


●MK固定ピン



1. 両面ユニットの場合

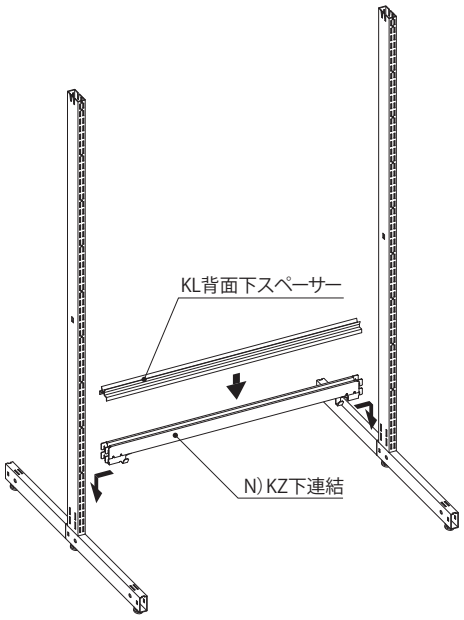
両面脚を柱に挿し込みます。
固定ピンを柱に挿し込みます。



継ぎ脚を使用する場合　⇒8ページ参照
キャスターを使用する場合　⇒8ページ参照

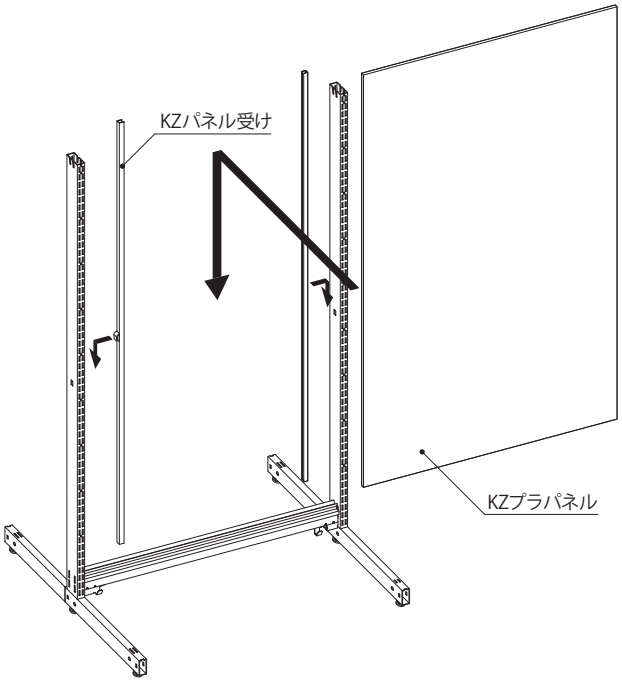
2.

下連結を柱に叩き込みます。
背面下スペーサーを下連結にのせます。



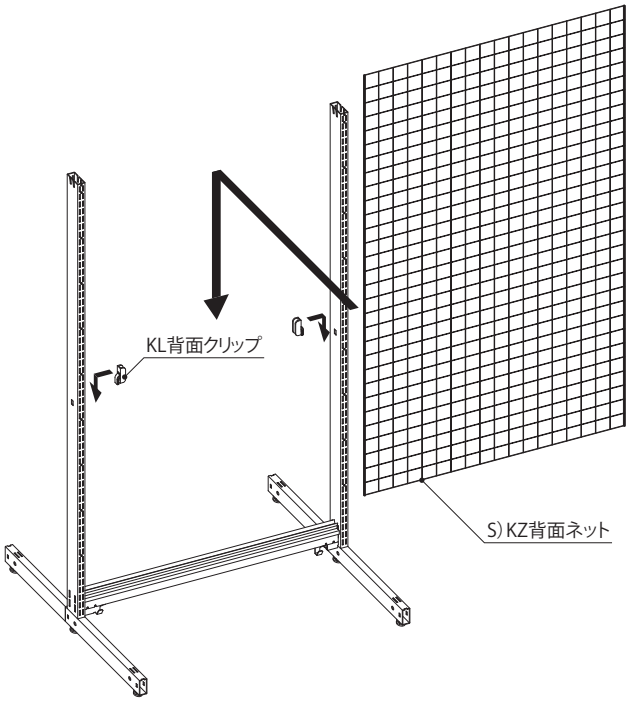
3. バックボードタイプの場合

パネル受けを柱に引っ掛けます。
パネルをパネル受けに差し込みます。

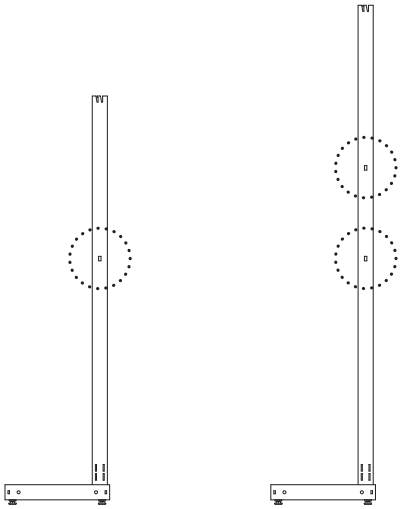


3. バックネットタイプの場合

背面クリップを柱の側面に取り付けます。
背面ネットを背面クリップに差し込みます。



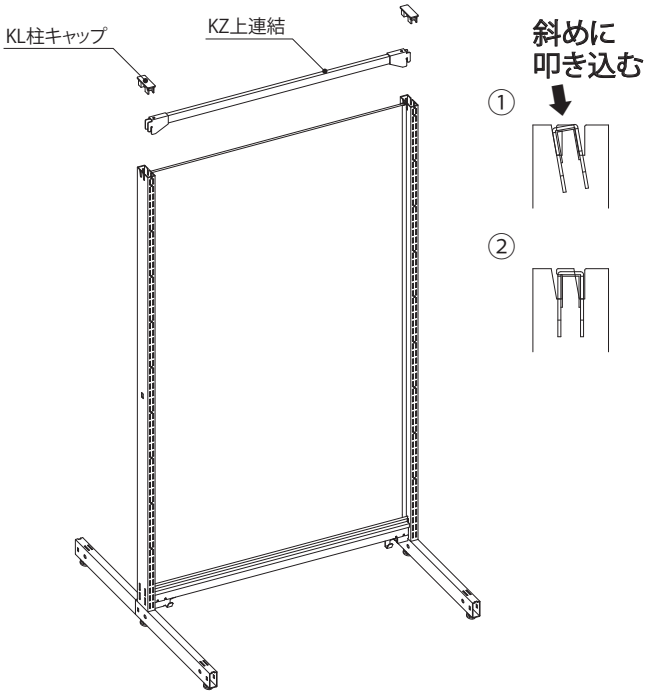
背面クリップ取付位置



H1500以下の場合　　H1500を超える場合

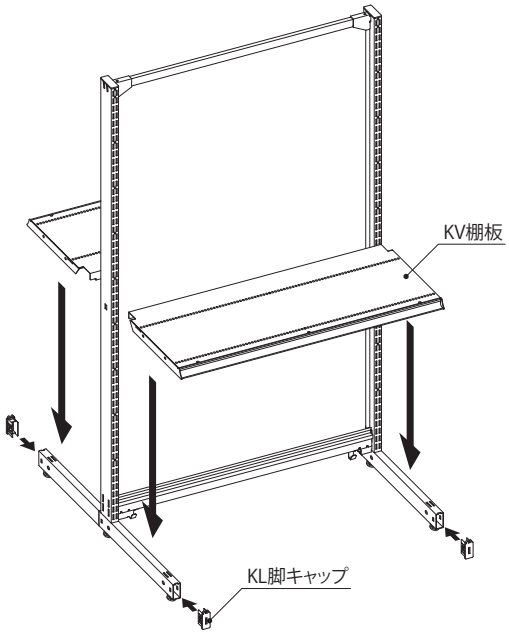
4. 上連結を柱に叩き込みます。

上連結の爪部側面を叩いて傾きを無くします。
柱キャップを柱に叩き込みます。



5. 脚キャップを柱の脚部（両面脚）に取り付けます。

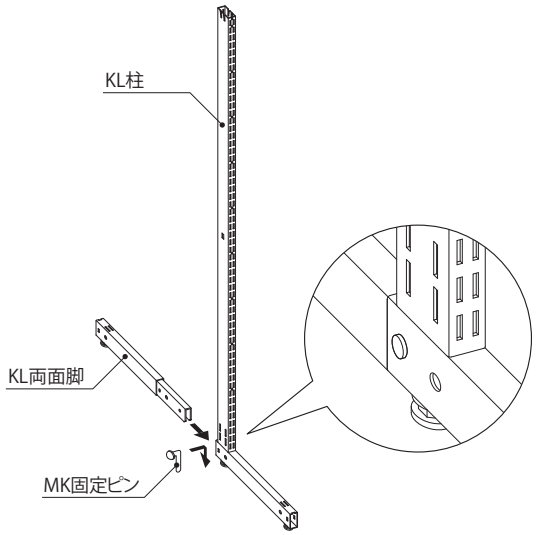
床板を柱の脚部（両面脚）にのせます。（完成）



3　組み立て順序　両面・片面ユニット　②オープンタイプ

1. 両面ユニットの場合

両面脚を柱に挿し込みます。
固定ピンを柱に挿し込みます。

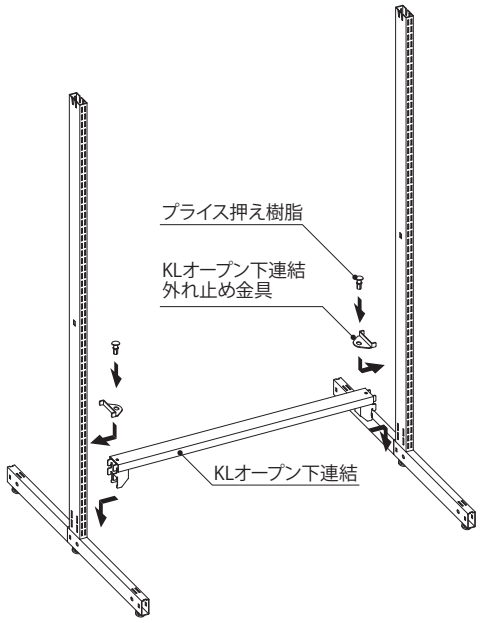


継ぎ脚を使用する場合　⇒ 8ページ参照

キャスターを使用する場合　⇒ 8ページ参照

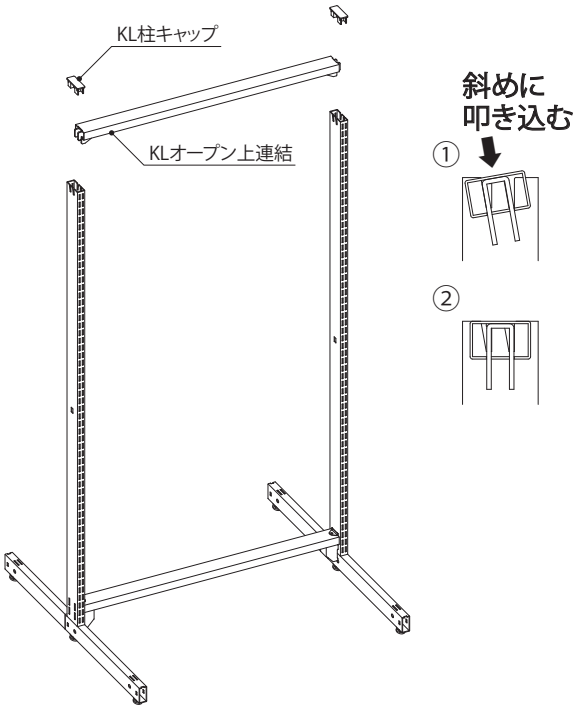
2. オープン下連結を柱に叩き込みます。

抜け止め金具を柱に挿し込み、プライス押え樹脂で
オープン下連結に固定します。



3. オープン上連結を柱に叩き込みます。

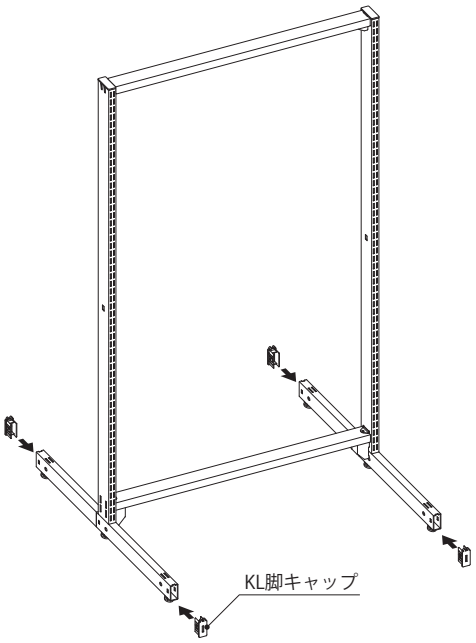
柱キャップを柱に叩き込みます。



床板セットを使用する場合　⇒ 10ページ参照

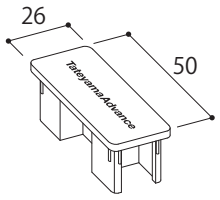
4. 脚キャップを柱の脚部(両面脚)に取り付けます。

(完成)



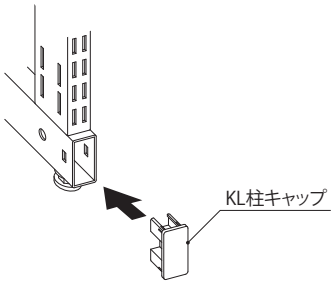
4　組み立て順序　オプションパーツ　①柱キャップ、キャスター、継ぎ脚セット

●KL柱キャップ

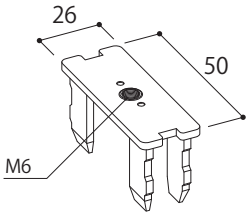


片面ユニットの場合

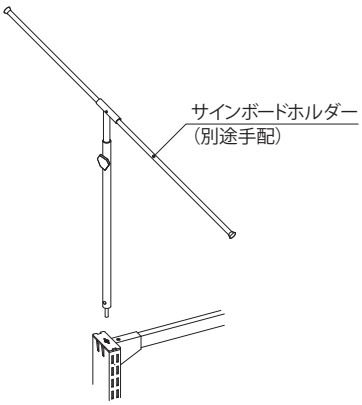
柱キャップを柱の脚部背面に叩き込みます。

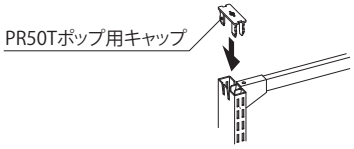


●PR50Tポップ用キャップ

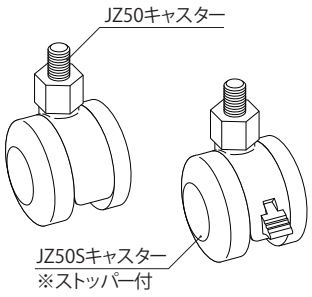


1. ポップ用キャップを柱に叩き込みます。
2. サインボードホルダー（別途手配）を
   取り付けます。

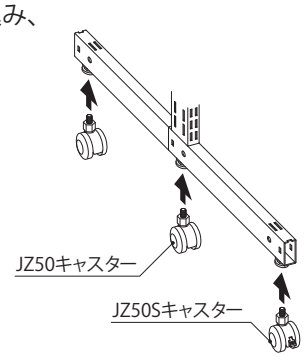




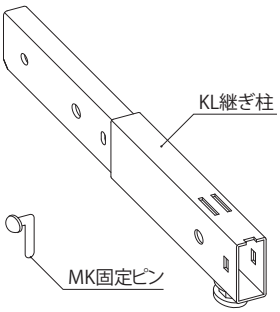
●JZ50・JZ50Sキャスター
●JZ40・JZ40Sキャスター



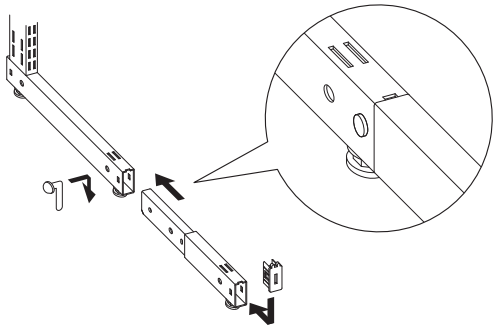
1. 柱及び両面脚のアジャスターを取り外します。
2. キャスターを柱及び両面脚にねじ込み、
   強く締め付けます。



●KL継ぎ脚セット

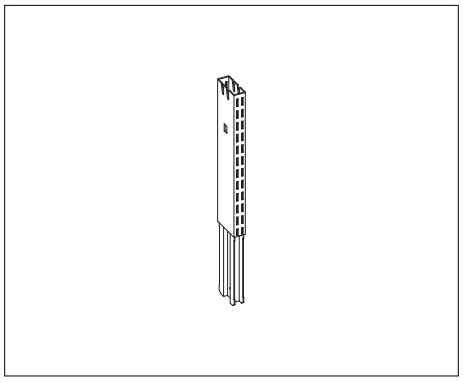


継ぎ脚を柱に挿し込みます。固定ピンを柱に挿し込みます。
※継ぎ脚とキャスターの併用は不可（特注対応）。

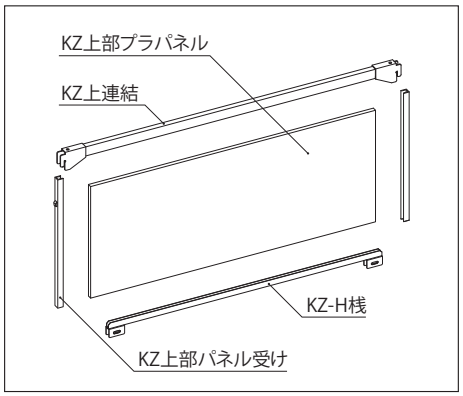


4　組み立て順序　オプションパーツ　②継ぎ柱（上部パネル・上部ネット・上部オープン）

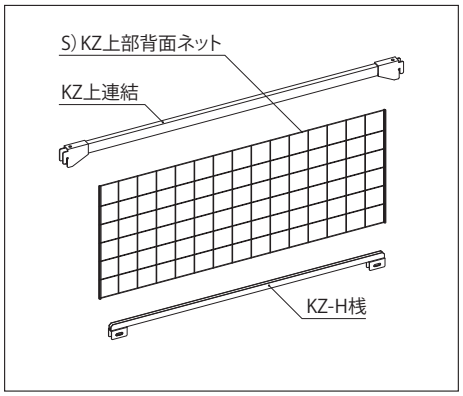
●KL継ぎ柱



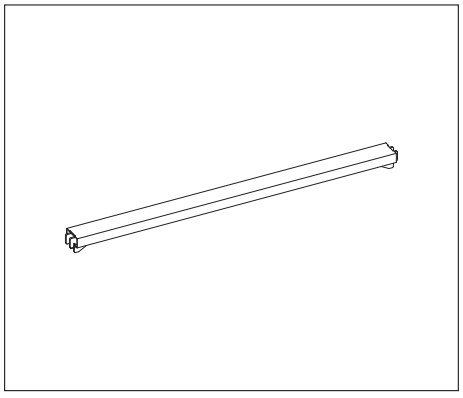
●KZ上部パネルセット



●KZ上部ネットセット

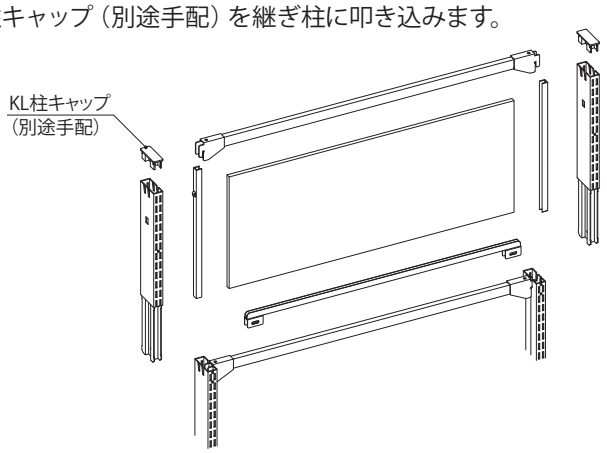


●KLオープン上連結



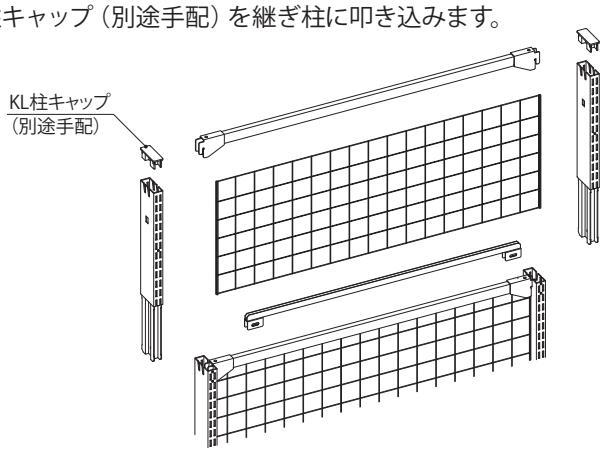
上部パネルセットを使用する場合

1. 継ぎ柱を柱に挿し込みます。
2. H桟を上連結（下側）に載せます。上部パネル受けを継ぎ柱に引っ掛けます。
   上部パネルを上部パネル受け及びH桟に差し込みます。
3. 上連結（上側）を継ぎ柱に叩き込みます。
   柱キャップ（別途手配）を継ぎ柱に叩き込みます。



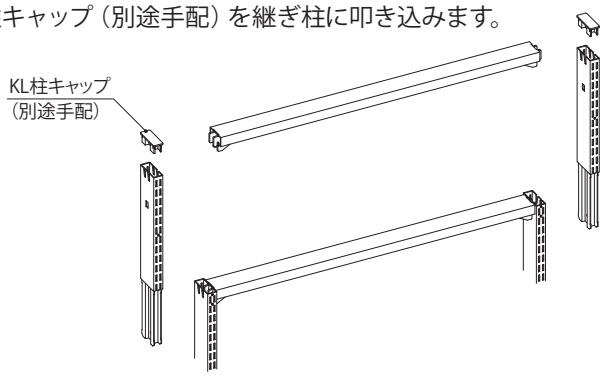
上部ネットセットを使用する場合

1. 継ぎ柱を柱に挿し込みます。
2. H桟を上連結（下側）にのせます。背面クリップを継ぎ柱に取り付けます。
   上部ネットを背面クリップ及びH桟に差し込みます。
3. 上連結（上側）を継ぎ柱に叩き込みます。
   柱キャップ（別途手配）を継ぎ柱に叩き込みます。



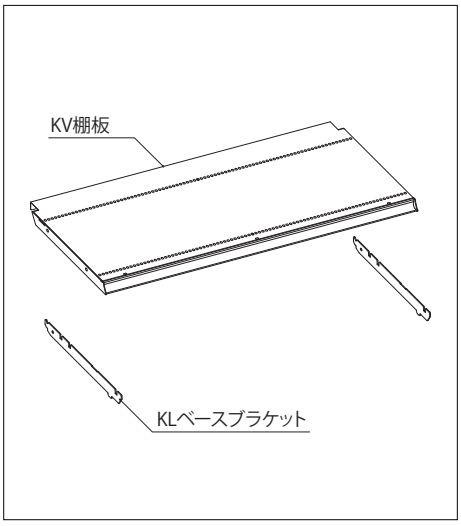
オープン上連結を使用する場合

1. 継ぎ柱を柱に挿し込みます。
2. オープン上連結を継ぎ柱に叩き込みます。
   柱キャップ（別途手配）を継ぎ柱に叩き込みます。

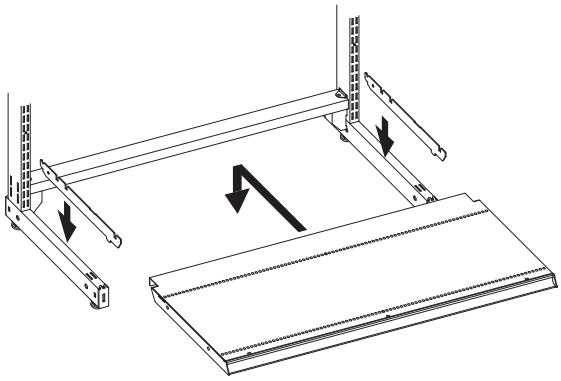


4　組み立て順序　オプションパーツ　③床板セット 、ステージ前面板セット、サイドカバー

●KL床板セット

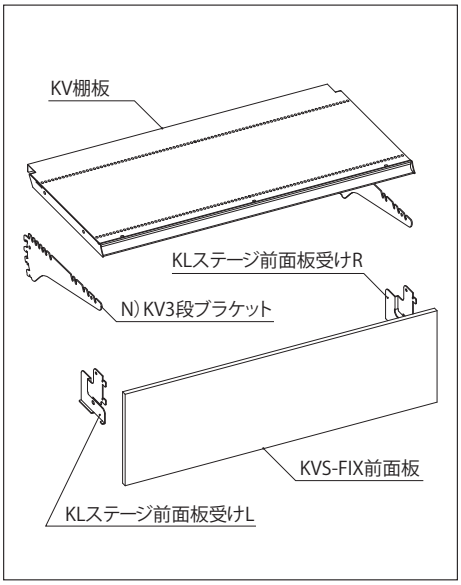


1. ベースブラケットを柱に取り付けます。
2. 棚板をベースブラケットにのせます。

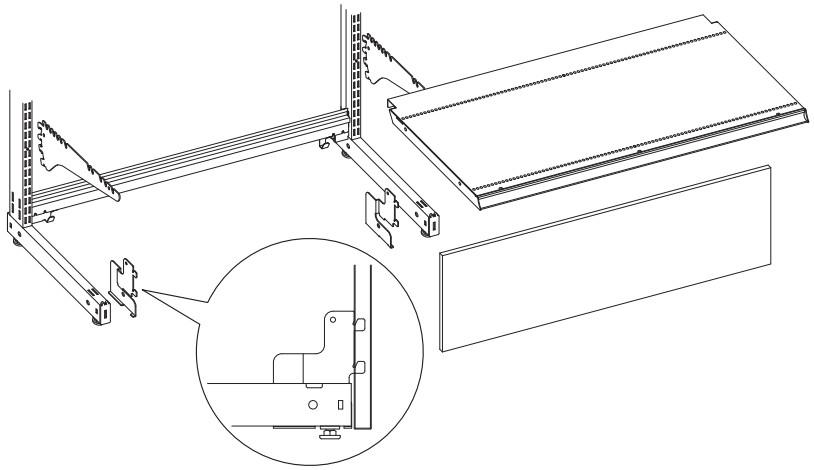


※KL型両面・片面ユニットの全タイプに使用できます。

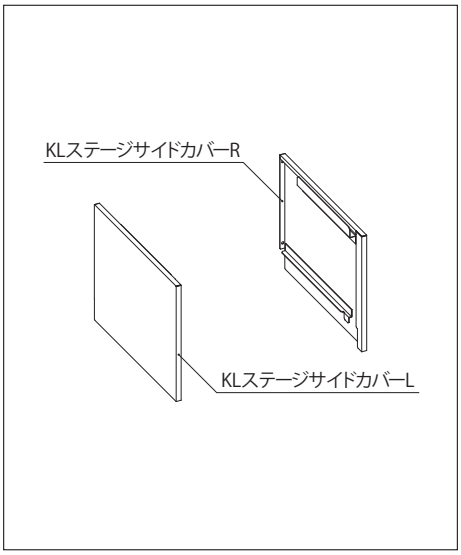
●KLステージ前面板セット



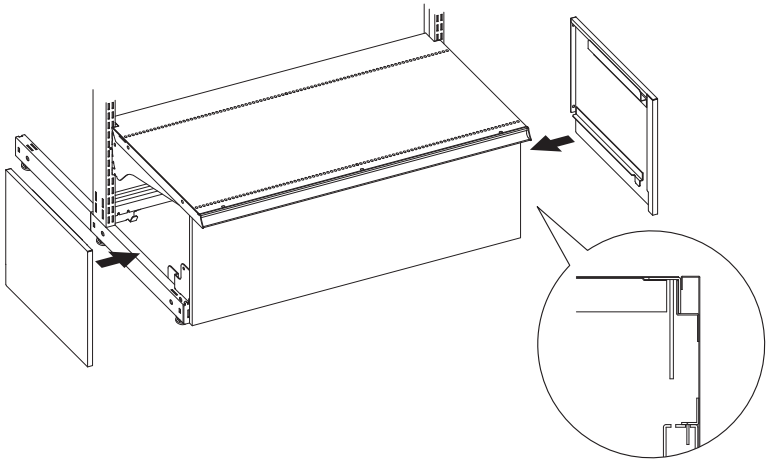
1. 前面板受けを柱の脚部（両面脚）に引っ掛けます。
2. 前面板を前面板受けに引っ掛けます。
3. ブラケットを柱に取り付け、棚板をブラケットにのせます。



●KLステージサイドカバーR・L

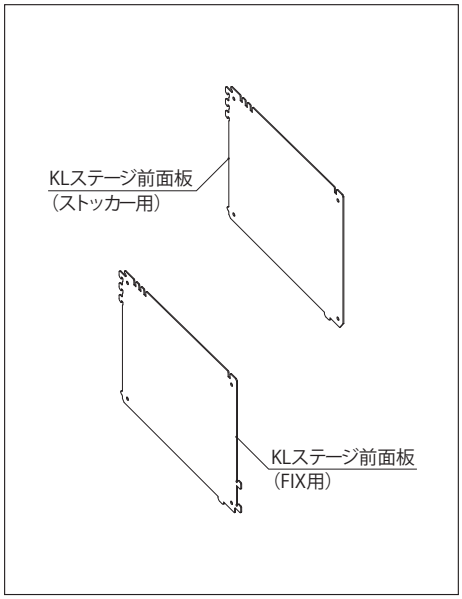


1. サイドカバーの爪部を柱の角孔に差し込みます。
2. 棚板の側面をサイドカバーの隙間に差し込みます。

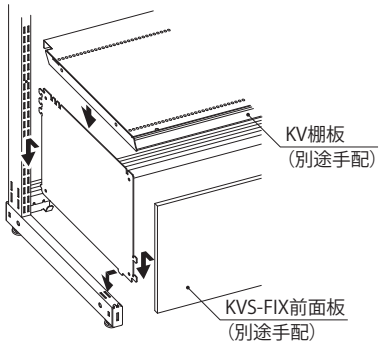


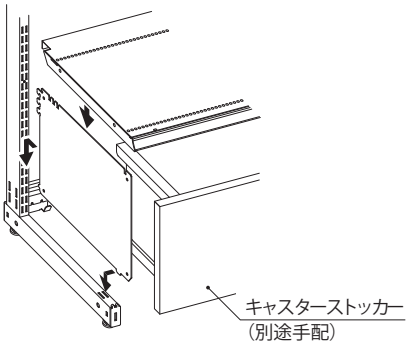
4　組み立て順序　オプションパーツ　④ステージ側面板、エンド固定金具、壁面固定金具

●KLステージ側面板（FIX用）
●KLステージ側面板（ストッカー用）

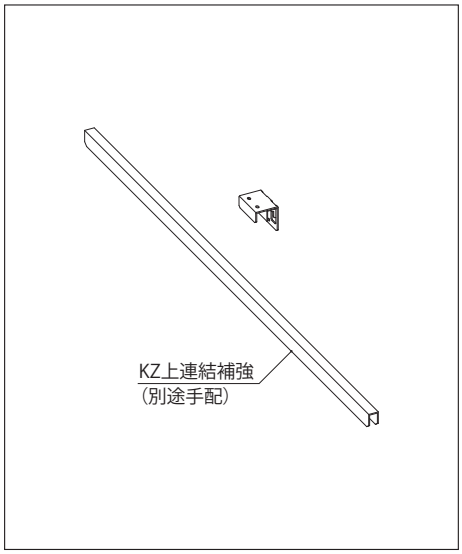


1. ステージ側面板を柱に引っ掛けます。
2. **FIX用の場合**　FIX前面板（別途手配）をステージ側面板の爪に引っ掛けます。
   ストッカー用の場合　キャスターストッカー（別途手配）を設置します。
3. 棚板（別途手配）をステージ側面板にのせます。

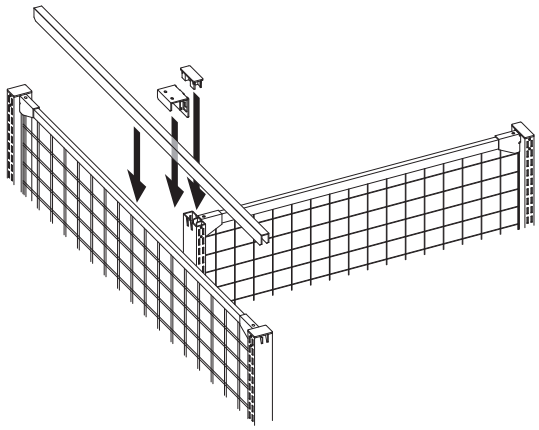




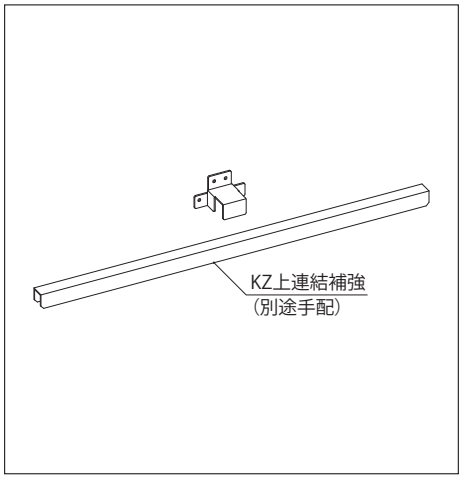
●KLエンド固定金具



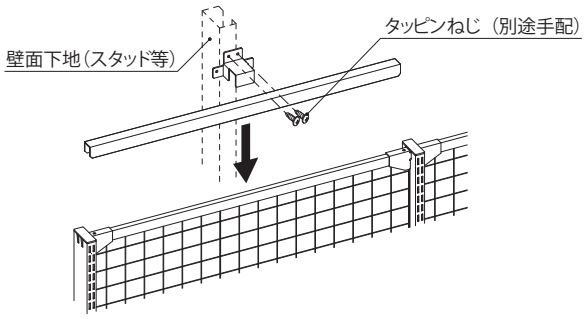
1. 上連結補強（別途手配）を片面ユニット側の上連結に被せます。
2. エンド固定金具を両面ユニット側の柱に叩き込みながら上連結補強に被せます。
3. 両面ユニットの柱キャップを柱に叩き込みます。



●KL壁面固定金具

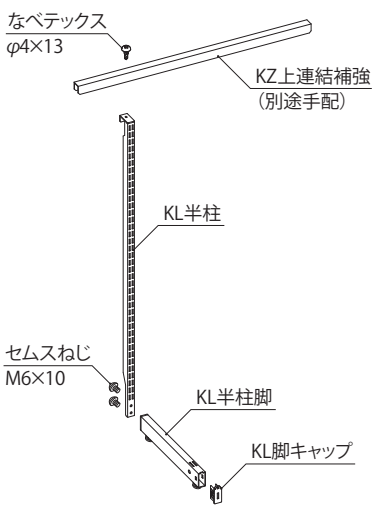


1. 上連結補強（別途手配）を上連結に被せます。
2. 壁面固定金具を上連結補強に被せ、壁面の下地材（スタッド）にねじ留めします（ねじは別途手配）。

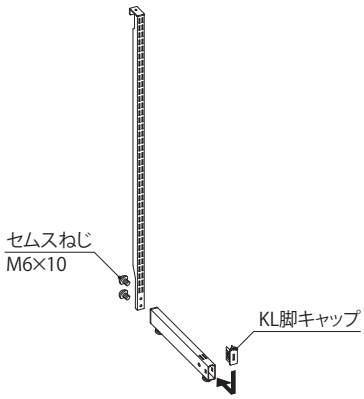


4　組み立て順序　オプションパーツ　⑤半柱セット、仕切枠セット

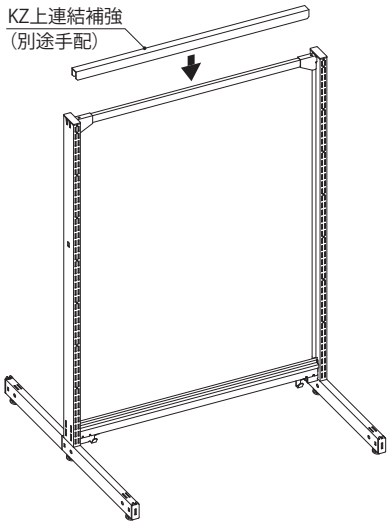
●KL半柱セット



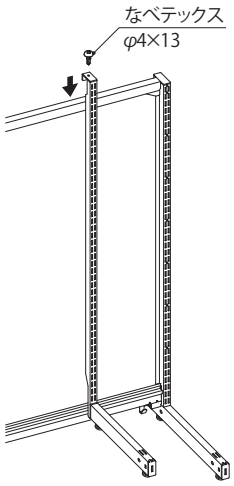
1. 半柱脚を半柱にねじ留めします。脚キャップを半柱脚に叩き込みます。



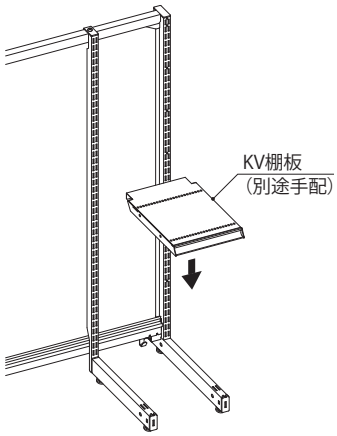
2. 上連結補強（別途手配）を上連結に被せます。



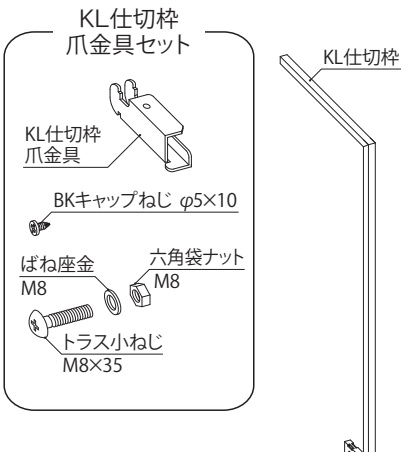
3. 半柱を上連結補強に引っ掛けてねじ留めします。



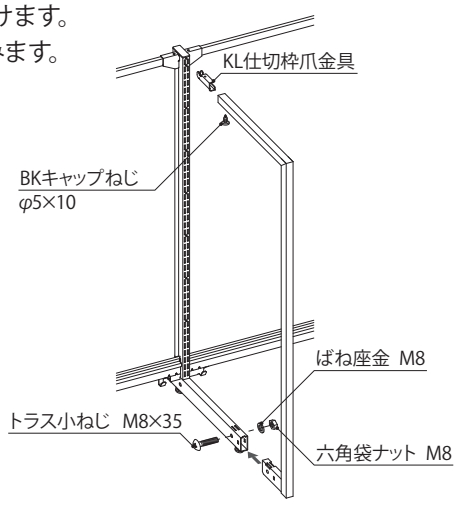
4. 棚板（別途手配）を柱の脚部にのせます。



●KL仕切枠セット



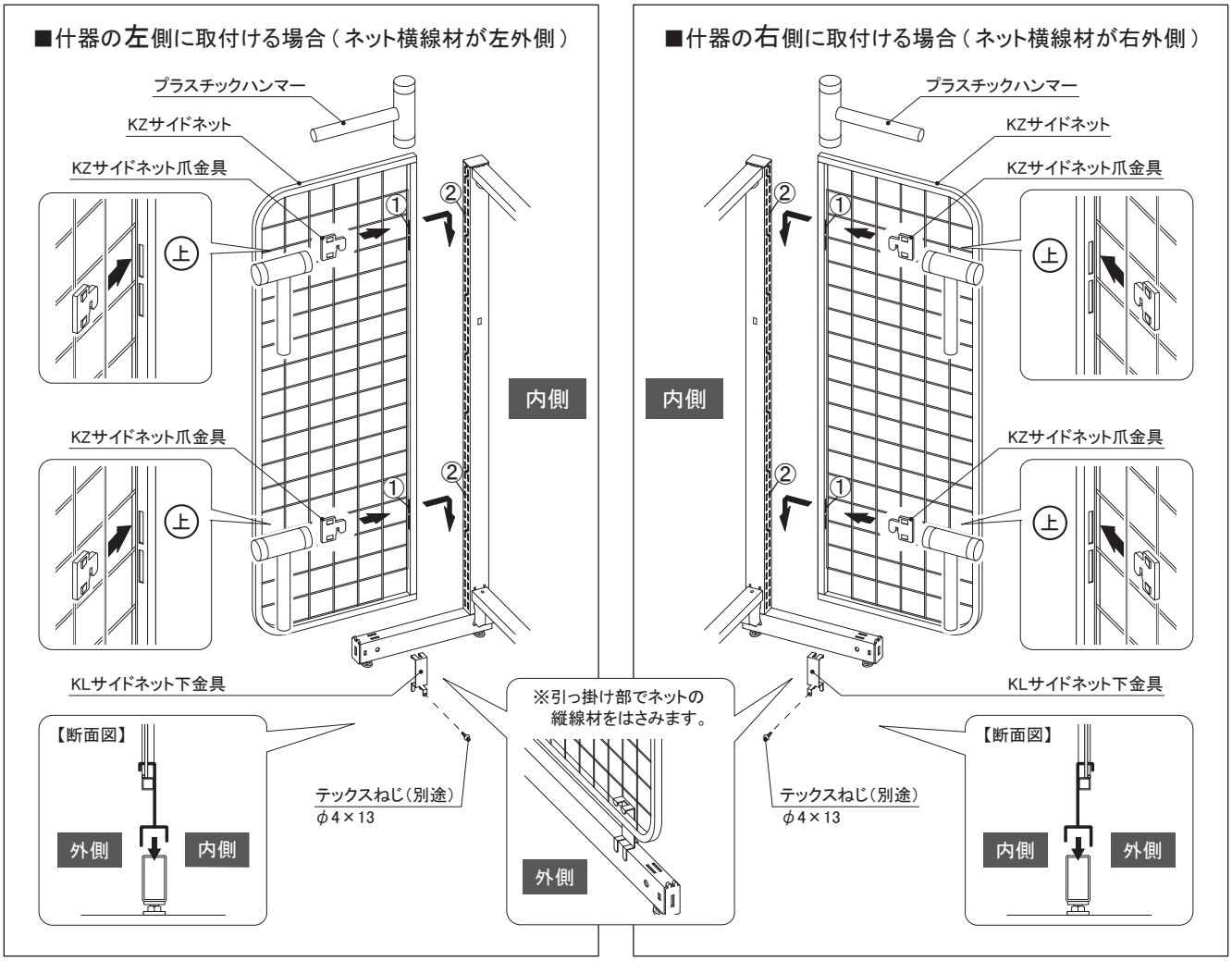
1. 爪金具を柱のスリットに引っ掛けます。
2. 仕切枠を爪金具と脚に挿し込みます。
3. 仕切枠をねじ留めします。

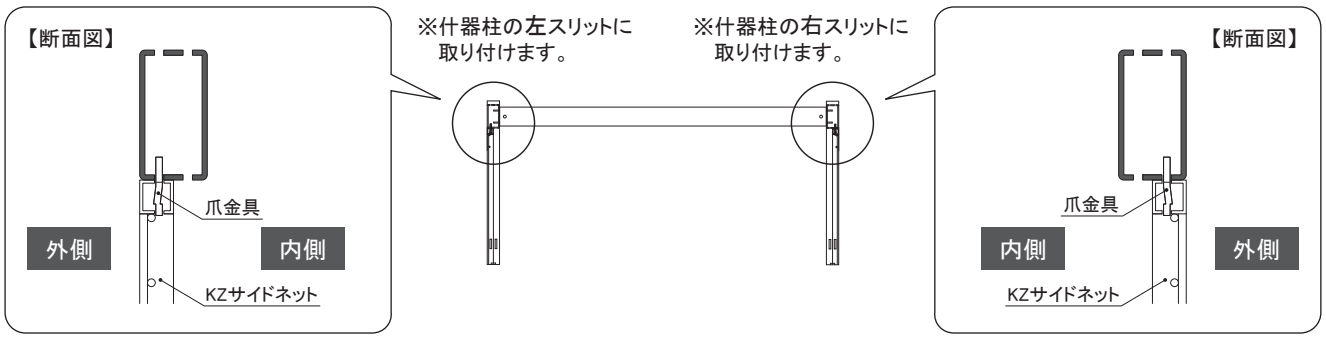


4　組み立て順序　オプションパーツ　⑥サイドネットセット

●KLサイドネットセット

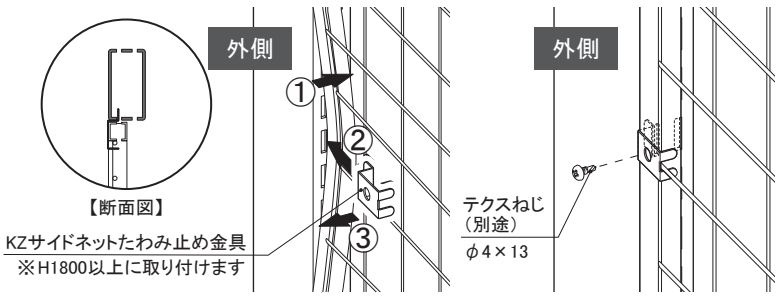
1. 爪金具をサイドネットの孔に軽く叩き込みます。この時、左用と右用の組み立て方が異なる点に注意します。
2. サイドネットの爪金具を柱の外側寄りのスリットに引っ掛けて軽く叩き込みます。
3. 下金具をサイドネットの枠に引っ掛けながら柱の脚部に嵌め込み、必要に応じてねじ留めします。（ねじは別途手配）





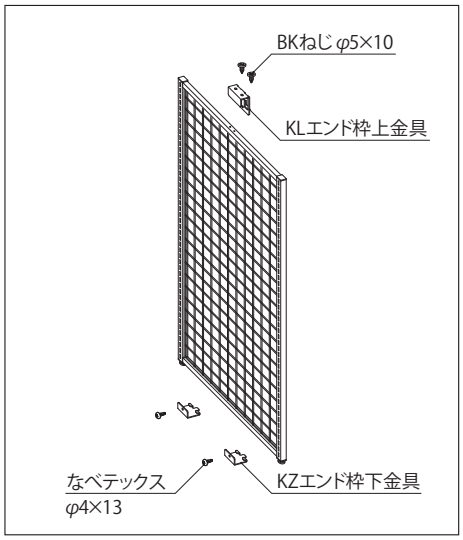
H1800以上の場合

4. サイドネットの中央を外側から内側へ押し込みながら、たわみ止め金具を柱のスリットに差し込みます。
   サイドネットの中央をたわみ止め金具に嵌め込み、必要に応じてねじ留めします。
   （ねじは別途手配）

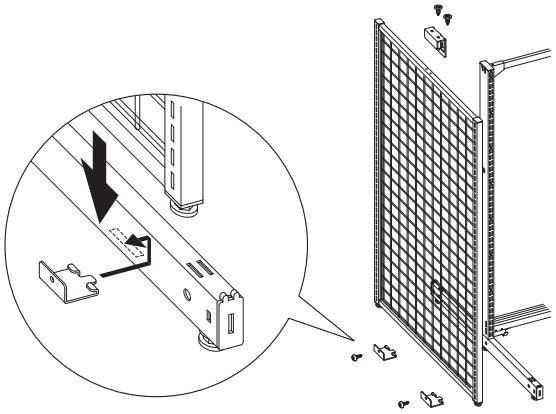


4　組み立て順序　オプションパーツ　⑦エンド枠セット

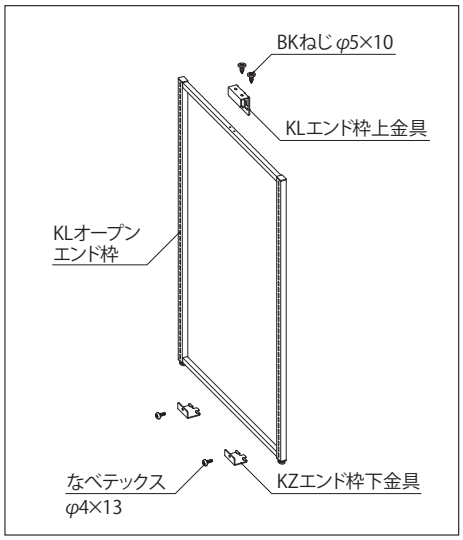
●KLエンド枠N（ネット）セット



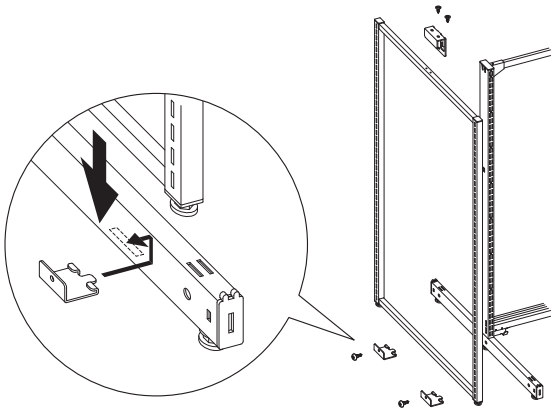
1. 下金具を柱の脚部に引っ掛け、エンド枠を下金具に引っ掛けます。
2. 上金具を柱に叩き込みながら、エンド枠に引っ掛けます。
3. エンド枠を上金具及び下金具にねじ留めします。



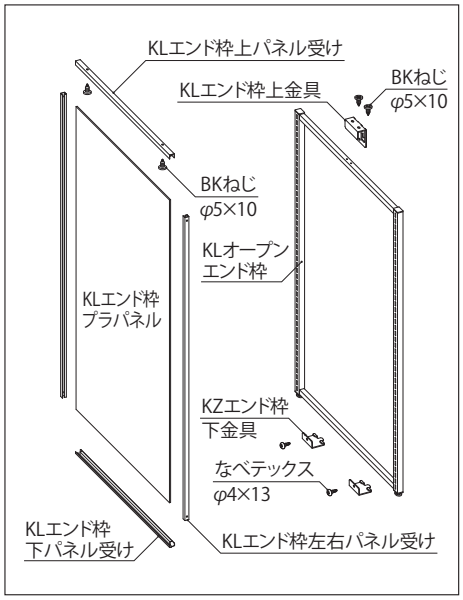
●KLエンド枠O（オープン）セット



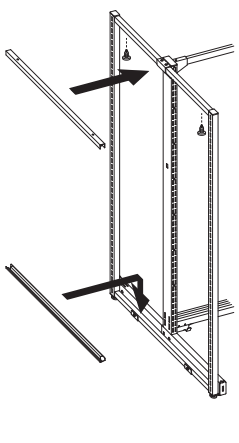
1. 下金具を柱の脚部に引っ掛け、オープンエンド枠を下金具に引っ掛けます。
2. 上金具を柱に叩き込みながら、オープンエンド枠に引っ掛けます。
3. オープンエンド枠を上金具及び下金具にねじ留めします。

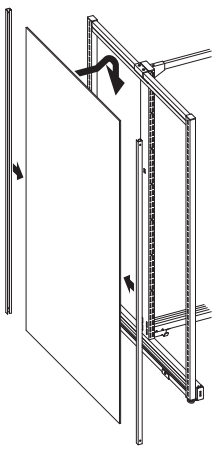


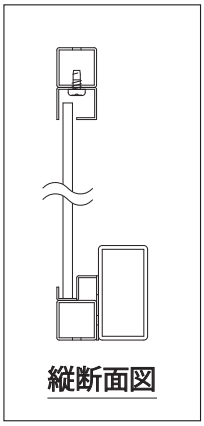
●KLエンド枠P（パネル）セット



1.～3. は KLエンド枠O（オープン）セットを参照。
4. 上下パネル受けをオープンエンド枠と柱との隙間に差し込みます。
　上パネル受けをオープンエンド枠にねじ留めします。
5. パネルを左右パネル受けで挟みながら、上パネル受けに差し込みます。
6. パネル及び左右パネル受けを下パネル受けに差し込みます。

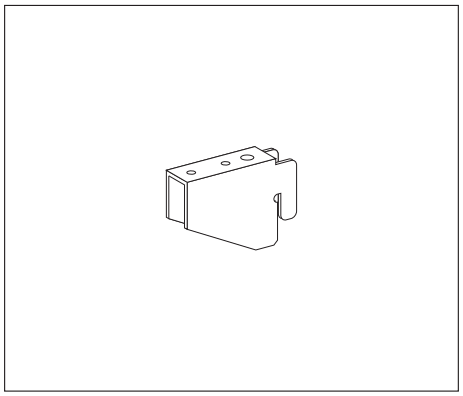




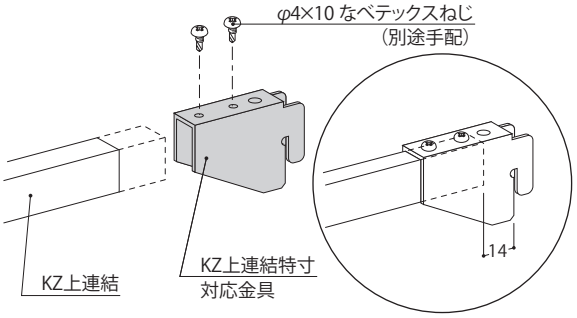


4　組み立て順序　オプションパーツ　⑧特寸対応金具

●ＫＺ上連結特寸対応金具

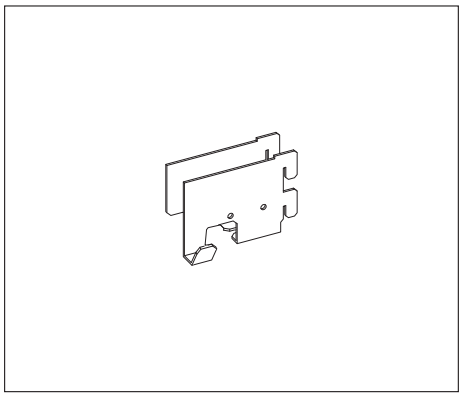


上連結を任意の寸法に切断し、特寸対応金具をねじ留めします。

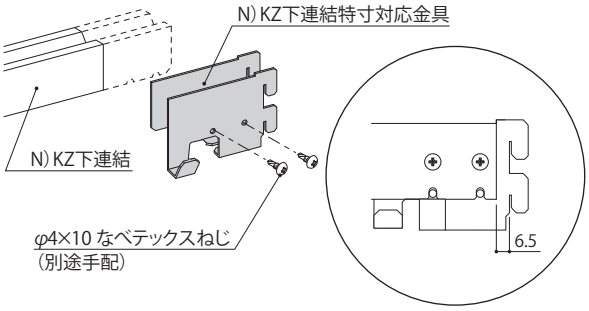


⚠注意
切断部は、必ずバリ取りを行ない、塗装する。

●ＫＺ下連結特寸対応金具

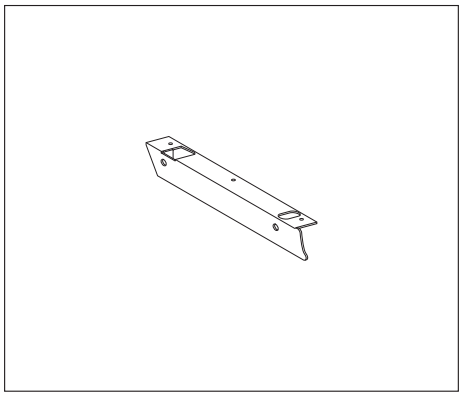


下連結を任意の寸法に切断し、特寸対応金具をねじ留めします。

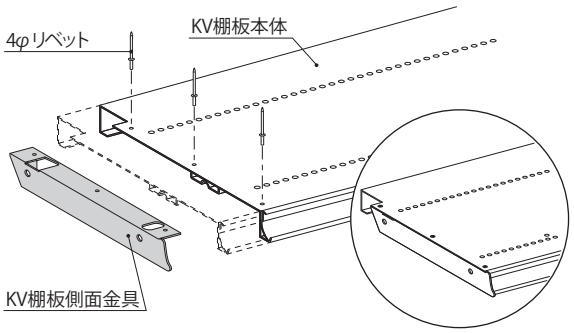


⚠注意
切断部は、必ずバリ取りを行ない、塗装する。

●ＫＶ棚板側面金具

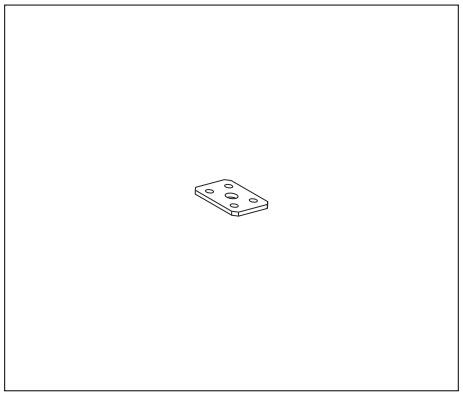


棚板を任意の寸法に切断し、側面金具をリベット留めします。

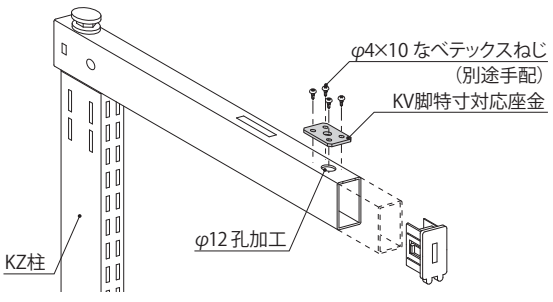


⚠注意
切断部は、必ずバリ取りを行ない、塗装する。

●ＫＶ脚特寸対応座金



柱の脚部を任意の寸法に切断し、下孔を開けます。
特寸対応座金を下孔に合わせてねじ留めします。



⚠注意
切断部は、必ずバリ取りを行ない、塗装する。

この組立説明書を紛失した場合または、製品に貼付したラベルが損傷した場合は、再発行いたしますので、
お気軽にお買い求めの販売店、もしくは最寄りの当社支店・営業所へご連絡ください。

●本組立説明書・対象製品は、予告なく仕様変更・廃止する場合があります。
●内容についてご不明な点は、最寄りの当社支店・営業所までお問い合わせください。
●掲載内容の全部、または一部の複写・複製・転訳載、及び磁気・光記憶媒体への入力などを禁じます。
これらの許諾は当社にご照会ください。

三協立山株式会社 タテヤマアドバンス社
〒103-0007
東京都中央区日本橋浜町2-9-5
TEL(03)5640-1819
http://advance.st-grp.co.jp/

商品コード 098349 SE
25－01－0.5.（4・8）
ACBC0001